

1. 菅内閣の支持率－世論の反応（上下動）が激しい支持率。
ついに「危険ライン」の30%切れ。

①菅内閣の支持率は、短期間での上下動が激しい。世論の反応に敏感すぎるほどに振り回されている。今月の支持率は月末に出た日経の調査は 30 %となったが、平均で 28.2 %。

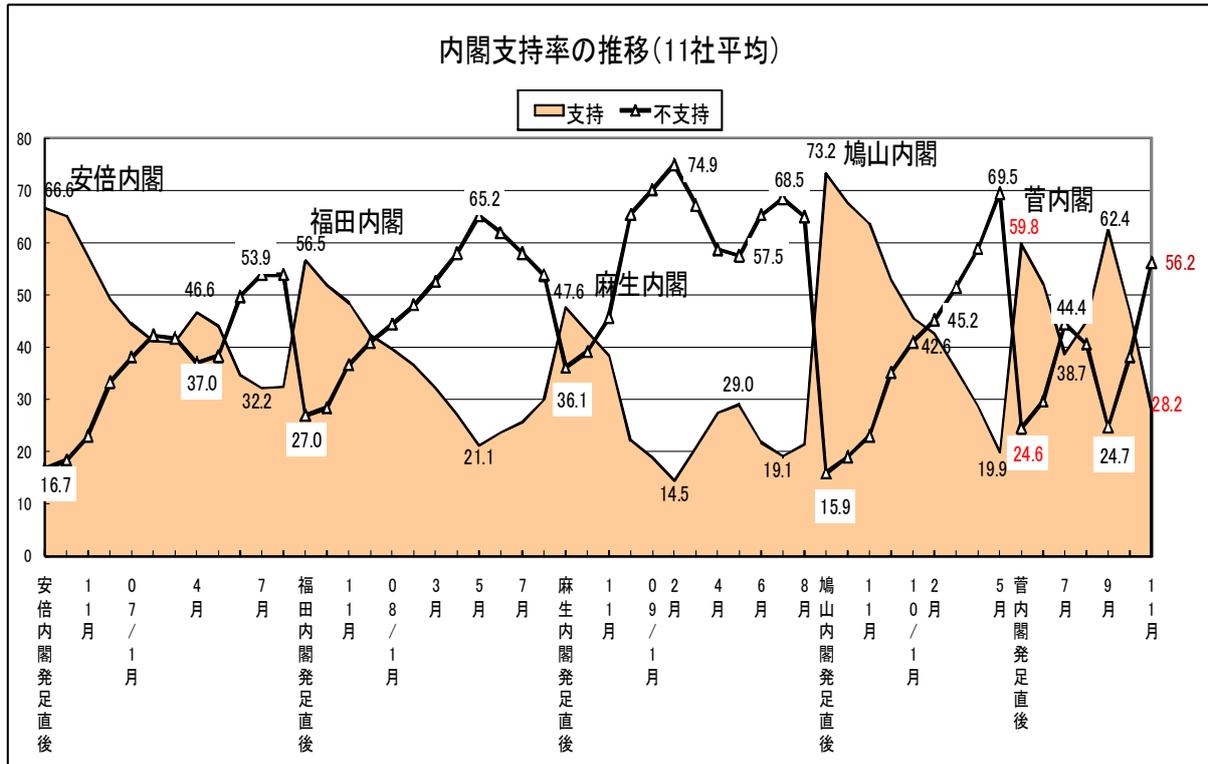
内閣支持率 11月

	支持	不支持
日経11.29	30	60
毎日11.22	26	57
読売11.8	35	55
朝日11.16	27	52
共同11.25	23.6	61.9
時事11.12	27.8	51.8
NHK11.8	31.0	51.0
JNN11.8	30.3	68.1
ANN11.15	28.5	45.8
FNN11.22	21.8	59.8
NNN11.14	29.4	55.6
平均	28.2	56.2

不支持が 56.2 %。これまで言われてきた「危険ライン」の 30 %を割り込んだ。

②菅内閣は発足（6.8）当初は 11 社平均で支持率 59.8 %と、まずまずの評価でスタートしたが、消費税問題・小沢氏の「政治と金」問題などで参院選で大敗し、7 月は 38.7 %にまで急落した。責任問題が浮上した中で、小沢氏と代表選挙を戦ったのが好反応を呼び 9 月の内閣支持率は 62.4 %と、発足時を上回った。しかし 10 月は民主党の弱点とも言われる外交問題に悩まされた。尖閣問題では日中首脳が正式な会談を持つことすら難航し、中国では反日デモが起き、円高も慢性化。見る見るうちに支持率が急降下し、ついに11月の30%切れとなった。

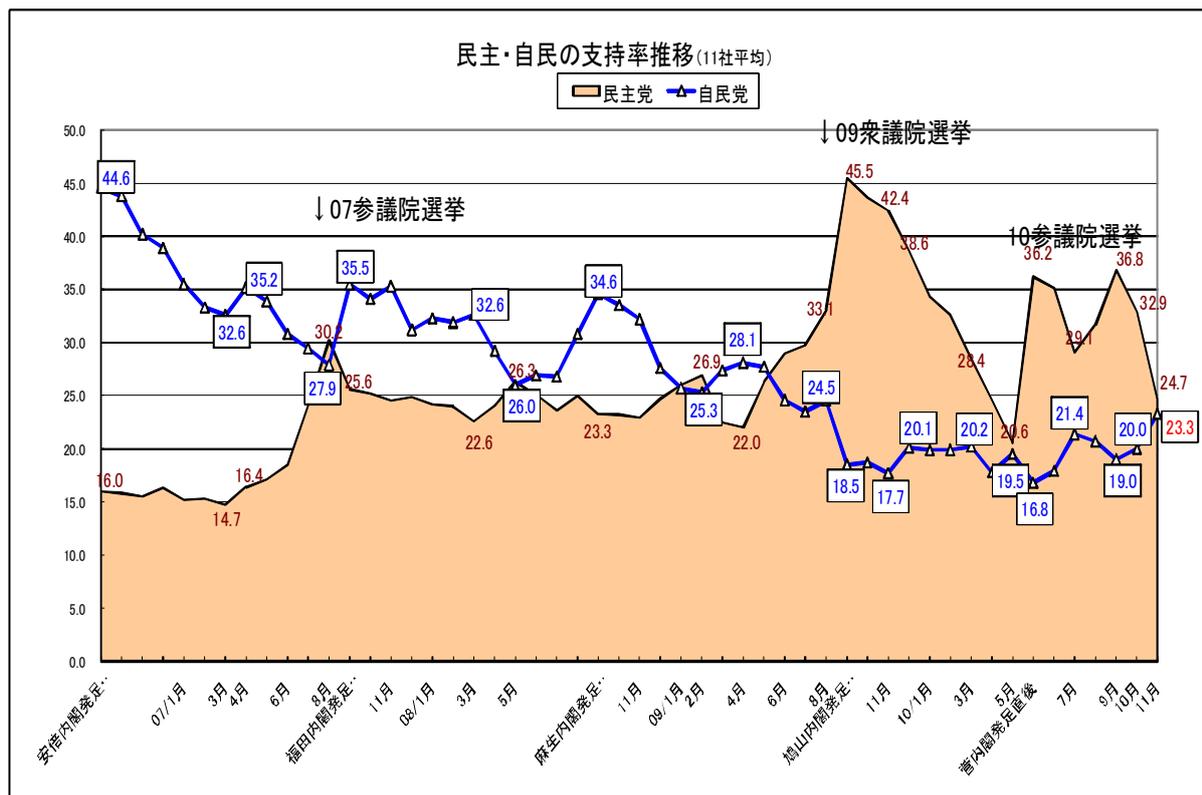
③「とうとう支持基盤が崩壊した」「民主党政権を我慢強く見守ってきた層の『寛容と忍耐』がついに折れた」とも評されている。今月は、ロシア大統領の国後上陸（1 日）、尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件の撮影ビデオがユーチューブに流出（4 日）などに始まり、中旬には成功とはいえなかった国際会議 G20 と APEC（11 日～ 14 日）。そして下旬には柳田法相の失言による辞任（22 日）。北朝鮮の延坪島砲撃（23 日）、参院での仙石官房長官



と馬淵国土交通相の問責決議（26日～27日）、沖縄県知事選挙（28日）と失点を誘う事件が多すぎた。月の後半に出た世論調査ほど内閣支持率は厳しくなっている。

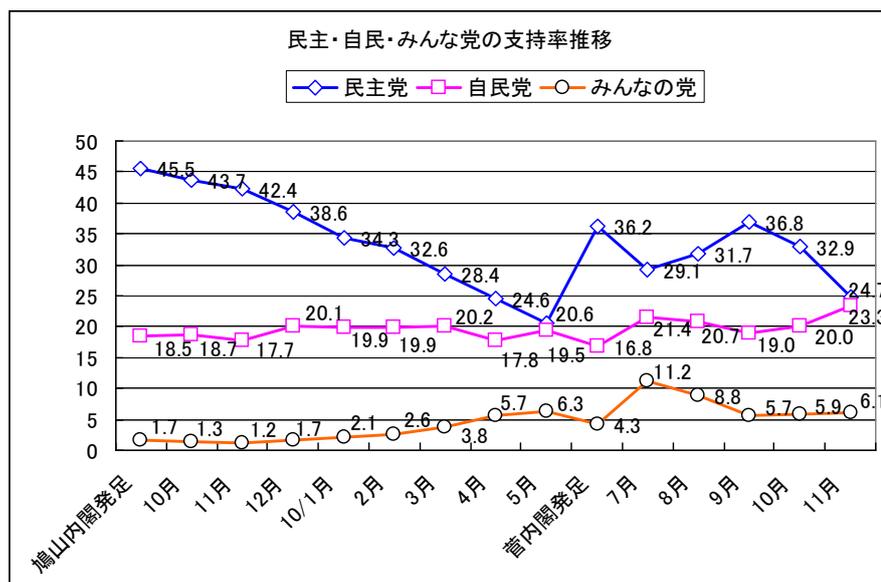
2. 民主・自民の支持率も接近。共同・時事・FNNは逆転。

①内閣の支持率の下降にあわせて民主党の支持率も下がってきている。11月の政党支持率は民主党が24.7%、自民党は23.3%と、その差がわずか1.4%になってしまった。



政党支持率 11)

	民主	自民
日経11.29	30	30
毎日11.22	20	18
読売11.8	28	23
朝日11.16	25	19
共同11.25	22.1	24.6
時事11.12	16.2	16.5
NHK11.8	24.1	22.1
JNN11.8	25.7	22.3
ANN11.15	32.6	29.6
FNN11.22	18.9	21.9
NNN11.14	29.0	28.9
平均	24.7	23.3



②民主党の支持率は、安倍内閣時の 07 参院選で勝利して以降、政権交代の政治勢力としての認知度が上がり、平均して 25 %前後で推移してきたが、昨年 8 月の衆議院選挙で大勝し、鳩山政権が出来た途端に 45.5 %に一気に跳ね上がった。誰もがこれはバブルだと思っはいたが、普天間や「政治と金」問題などで鳩山内閣の支持率の下降に合わせて民主党の支持率も下落。菅内閣になってからも内閣支持率と連動して上下している。

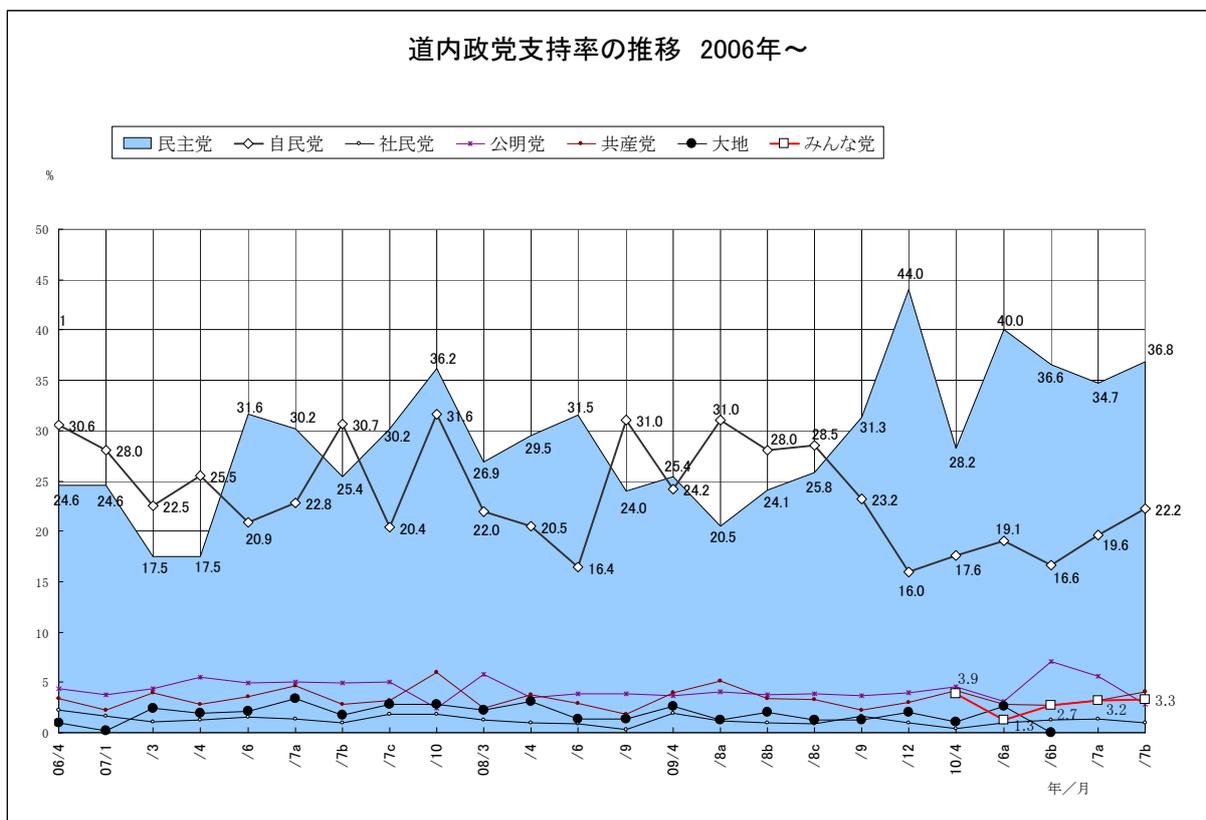
③今月の 24.7 %という数値は、政権獲得前の水準だが、案外このレベルが現実的な体力なのかもしれない。これ以下に下がり続けるとしたら事態は相当深刻だ。

自民党は政権を失って以降は、ほぼ 20 %前後の水準を維持している。今月は 23.3 %とやや上がったが、政権復帰への受け皿となるほどには国民の信頼は回復していない。みんなの党もブームは過ぎたが 6 %前後に落ち着く気配だ。公明党を抜いて第 3 党の位置は確保している。

早期の「解散・総選挙」を望む声は、まだ多数にはなっていないが、やや上昇する気配がある。「仮にいま、衆院選挙の投票をしたら、比例ほどの政党に」と聞いた朝日の調査(11.16)では「民主党へ」が 28 %、「自民党へ」は 27 %と、ほぼ拮抗した答えになっている。

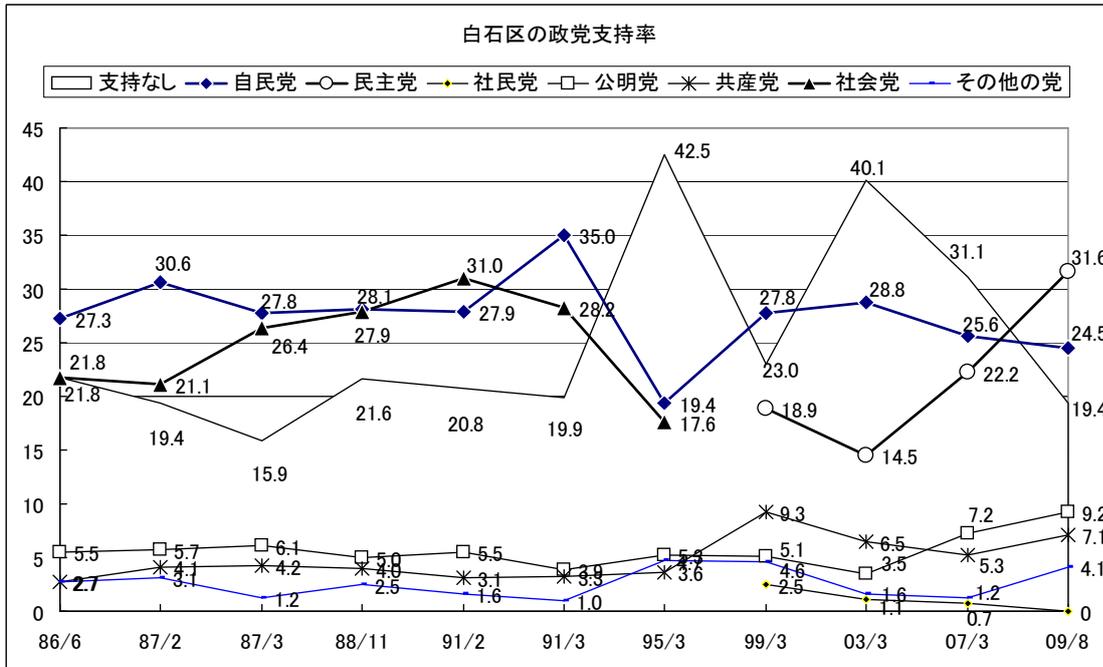
3. 道内—ほぼ全国傾向と同じか…

①北海道新聞社の調査により道内の傾向を見てみる。北海道は過去には本州とは異なった独自の傾向を持ってきたが、政権交代後は、ほぼ全国傾向に連動した流れを見せているようだ。昨年 12 月の調査では民主党の支持率も 44.0 %に急上昇し、反面自民党は 16.0 %に



急降下している。今年に入って4月に行われた調査でも、小沢問題などの影響が見られるし（民主28.2%に）、参院選前の6月と7月に行われた4回の調査も、ほぼ全国傾向と連動しているものと判断できる。こうしたことから、菅内閣が発足して以降の現在の段階を推測しておくほかはない（おおむね民主党の支持率は30%前後の水準か？）。

4. 白石区—データのみ参照



白石区における過去の選挙結果

1. 道議選挙										
	投票率	鈴木→広田	得票率	伊藤	得票率	浅野→森	得票率	山根→川部	得票率	
99道議選	55.6	21,889	25.9	20,401	24.1	20,076	23.7	22,236	26.3	
03道議選	54.1	19,824	23.2	22,138	25.9	25,015	29.3	18,488	21.6	
07道議選	58.14	33,385	35.0	25,878	27.1	23,755	24.9	12,378	13.0	

2. 市議選挙												
	投票率	自民			上瀬戸			越智				
		畑瀬	得票率	村上	得票率	山口	得票率	馬場	得票率	07稲津	得票率	07佐々木
95市議選	8.715	10.7	7,050	8.7			8,729	10.7	9,796	12.0	11,741	20.7
99市議選	7.368	8.7	7,648	9.1			9,248	11.0	9,501	11.3		0.0
03市議選	8.987	10.6	8,740	10.3			9,499	11.2	8,564	10.1		0.0
07市議選	10.728	11.3	8,913	9.4	10,906	11.5	10,341	10.9	4,061	4.3	11,503	12.1

3. 衆議院選挙										
	投票率	公明		共産		無所属				
		常見・谷沢	得票率	武藤	得票率	杉山・伊藤	得票率	松浦	得票率	吉田
95市議選	13.931	17.1	11,488	14.1			10,038	12.3		
99市議選	14,829	17.6	11,308	13.4	5,383	6.4	13,673	16.2	5,328	6.3
03市議選	15,693	18.5			13,022	15.3	13,324	15.7	7,200	8.5
07市議選	15,153	16.0			11,372	12.0	11,767	12.4		

4. 参議院選挙													
	投票率	民主	得票率	自民	得票率	共産党	得票率	社民党	得票率	公明党	得票率	自由党	得票率
00比例区	57.2	26,519	29.7	16,141	18.1	16,515	18.5	8,005	9.0	13,953	15.6	6,838	7.6
03比例区	55.4	37,025	41.1	23,222	25.8	10,420	11.6	3,498	3.9	15,872	17.6		
05比例区	64.7	35,668	36.9	30,123	31.2	10,264	10.6	4,805	5.0	15,748	16.3	10,746	10.0
09比例区	68.2	49,159	42.7	23,816	20.7	10,763	9.3	3,826	3.3	14,197	12.3	12,498	10.8